

平成23年度第3回共済事業セミナー開催

～伊藤元重氏が「3.11震災復興と今年の日本経済」について講演～

1月19日（木）、シティプラザ大阪において「平成23年度第3回共済事業セミナー」を、250名を超える多数の参加の下、開催いたしました。

最初に、主催者を代表して本会の山口専務理事が挨拶を行い、続いて司会者より本日のセミナー講師についてプロフィールの紹介が行われた後、講演に入りました。

今回の講演のテーマは「3.11震災復興と今年の日本経済」、講師は東京大学大学院経済学研究科教授の伊藤元重氏。

テレビ「ワールドビジネスサテライト」のコメンテーターとしてお馴染みの伊藤氏は、冒頭で新年早々経済は大きく動いていることを述べ、本題のテーマに入られました。

伊藤氏の講演は、まず前半は、今一番関心が寄せられているヨーロッパの財政危機について詳しく語られ、ヨーロッパ経済はこの先4～5年は厳しい状態が続くであろうと予想されました。そして、今年の世界経済のカギとなるのは「アメリカ」と「中国」であると述べ、それぞれの国について明るい兆しが見え始めていることから、徐々に世界経済は安定していくことが予想されると語られました。また、日本については「今年が勝負の年」とされ、消費税増税問題や、現在の日本の財政状況、また国債と金利の関係などについて詳しく説明され、閉塞感の中で非常に安定している今の「デフレ」状態が、この先も続くとは限らないと語られました。



講演の後半は、まず為替レートについて語られ、今年はマーケットが荒れて非常に予想が難しいとし、このまま円高が続くか円安になるかについて、少し先を読みながらビジネスチャンスをつかんでいくことが、中小企業の経営者にとって大切であることを協調されました。

また、現在は大きな産業構造の転換時期にあると述べ、「アジアの引力」というキーワードと「グラビティーモデル」という経済学の理論を用い、近年発達が著しいアジア諸国と日本各地の企業が貿易をする時代であり、「厳しい年になるが悲観的にならず、ビジネスチャンスを見つけることが大事である」とし、1時間半に亘る講演を締めくくられました。

円高ユーロ安で明けた2012年の新春に、正にタイムリーなテーマということもあり、講演中は伊藤氏のお話に熱心に耳を傾けメモをとる参加者が、会場のあちこちで見受けられました。

大阪府中央会では、今後もこうしたセミナーを開催し、会員の皆様に様々な情報提供をさせていただきたいと考えております。お時間の都合がございましたら、是非次回は本会のセミナーにご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

